

【22_344思考系メルマガ】僕が「失敗したなあ」と思った事

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今日も週末らしく、雑談的なテーマを扱ってみようと思います。

今回の話は、飲み会の席とかで如何にも出て来そうな話だなあというのですが(笑)

▼質問はコチラ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-12-11.png

□
└─┘ どこかで「うまくやろう」としてしまふ自分に気付く

これは、僕がスイングトレードからデイトレに切り替えるキッカケになったターニングポイントでもあったのですが

スイングトレードでポジションコントロールをしながらトレードをしていたころ

自分の中でどこか「相場をうまくコントロールしよう」などという、できもしないことに試行錯誤していたように思います。

これが今思えば、『相場の不確実性』に正面から向き合わずランダムに動く相場を自分の思うように制御できるという思い込みであり

結局どこかで最後勝ちきれずに終わってしまう原因だったのです。

不幸中の幸いだったのは、それでも損失の許容範囲は今と同じように明確に決め、ルール化していたので

トータルで見れば負けずに着実に勝っていた事でしょうかね。

ただ、分析にかかる手間や長い保有時間のわりに、平均利回りはあまり納得の行く数字ではなかったのです

ここから更にブレイクスルーするにはどうしたらいいかなぁ、と考えていたのが
デイトレに転向するちょっと前の時期でした。

そこから思考を変えるキッカケになったのは

- ・あくまでトレードは『確率論的思考』でやっていくしかない
⇒ランダムに動く相場に対して、『自分なりの規則性』に沿ってトレードする
- ・その規則性に基づくルール(型)で、勝ちと負けの両方を受け入れつつ、試行回数を増やす
- ・結局、圧倒的な『検証母数と試行回数』が、トレードの精度と経験値を増やしてくれる

このあたりの考えをトレードに反映させるようになってからですね。

もちろん、スイングトレードの有効性を否定するつもりはまったくありませんが

どうしても保有時間が長い分だけ、試行回数は増えづらく、また相場の不確実性(=何が起こるか分からない)によるリスクに対して

自分がどんな対応をするのかよく考えないといけないという意味で、為替のような相場とは相性が悪いと言えます。

逆に、スキャルピングに対しては単純なリスクリワードだけでは測れない

今の僕にはわからない特有の技術があるのかもしれないので、安易な論評は控えたいと思います。

が、いずれにせよ1回ごとのトレードに付随するスプレッドの不利を、勝率・リスクリワードを含む要素で

どのようにプラス収支へ持っていくロジックに落とし込むかが非常に難しい手法であるように思います。

話が少々横道に逸れましたが、トレードにおいて一番失敗しやすい考え方としては

「上手くやろう」という意識から、どこかで相場を自分の思い通りにしようとしてしまう考えがよぎることにあると思います。

どれだけ自分が一貫したロジックでエントリーを決断したとしても、それは相場の動きに何も影響するものではありません。

目線通りに行ってくれれば利確できるし、そうでなければ損切か建値撤退になる
それだけのことです。

あくまで確率に支配される世界であることを理解し、それに逆らわずに自分の『基準』に沿った
一貫性のあるトレードができるように、僕らは技術を磨いていく必要があります。